

【新刊一覧】

2022年2月～6月に出版された生物関連の書籍をご紹介します。詳細は各出版社、または書店にお問い合わせください。

書籍名	著者、訳者	出版社	発売日
微生物・文明の終焉・淘汰	マーク・バートネス／著 太田博樹／監訳 神月謙一／訳	ニュートンプレス	2022年6月
踊るハシビロコウ	南幅俊輔／企画・編集・撮影	ライブ・パブリッシング	2022年5月
オカメインコとともに	細川博昭／著	グラフィック社	2022年5月
カワウソをよく知るための本	コツメカワウソ研究会／編・著 三輪恭嗣／監修	グラフィック社	2022年5月
北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑 補新	徳田龍弘／著	北海道新聞社	2022年5月
川に生きるイルカたち	神谷敏郎／著	東京大学出版会	2022年5月
生物統計	木立尚孝／著	コロナ社	2022年5月
自生地の多肉植物 世界各地の厳しい環境に生育する姿800点	小林浩／編著	誠文堂新光社	2022年5月
ヒトはなぜ死ぬ運命にあるのか 生物の死4つの仮説	更科功／著	新潮社	2022年5月
身近な生物のきもち 君のそばにいるよ	大島健夫／著	メイツユニバーサルコンテンツ	2022年5月
ペンギン大全	パブロ・ガルシア・ホルボログ, P・ディー・ボースマ／編 上田一生／他訳	青土社	2022年5月
樹木の恵みと人間の歴史 石器時代の木道からトトロの森まで	ウィリアム・ブライアント・ローガン／著 屋代通子／訳	築地書館	2022年5月
ニホンミツバチが日本の農業を救う 新装版	久志富士男／著	高文研	2022年5月
日本書紀の鳥	山岸哲, 宮澤豊穂／著	京都大学学術出版会	2022年5月
ヘムタンパク質の科学 生理機能の理解とその展開に向けて	城宜嗣, 青野重利, 齋藤正男／監修	エヌ・ティー・エス	2022年5月
ゲノム編集と医学・医療への応用	山本卓／編	裳華房	2022年5月
森のふしぎ 森林生態系の循環と利用	馬場孝三／著 藤村真美／イラスト	鳥影社	2022年4月
難培養微生物研究の最新技術 3 普及版	バイオテクノロジーシリーズ	シーエムシー出版	2022年4月
今だから知りたい新型コロナウイルス感染症治療薬の登場でパンデミックは収まるのか？	中西貴之／著 宮坂昌之／監修	技術評論社	2022年4月
もうひとつのキタキツネ物語 キツネとヒトの多様な関係	塚田英晴／著	東京大学出版会	2022年4月
ライフサイエンスのための生物学	鷲谷いつみ／監修 江原宏, 谷口光隆, 海野年弘／共編 森誠ほか／著	培風館	2022年4月
かえる先生のいきもの交遊録	松尾公則／著	長崎新聞社	2022年4月
動物福祉学	新村毅／編	昭和堂	2022年4月
最先端コオロギ学 世界初！新しい生物学がここにある	野地澄晴／編	北隆館	2022年4月
世界のクジラ・イルカ百科図鑑 新装版	アナリサ・ベルタ／編 山田格／監訳 黒輪篤嗣／訳	河出書房新社	2022年4月
生命の絆 論文から読み解く現代の生物科学	國貞隆弘／著	岐阜新聞社	2022年4月
対馬の植物	國分英俊, 國分愛子／著	あるむ	2022年4月
アンモナイトと恐竜時代の生物 銅版画で辿る化石図鑑	福岡幸一／著	北隆館	2022年4月
ヤマトシジミの生物学 自伝的研究誌	中村幹雄／著	日本シジミ研究所	2022年4月
適応と自然選択 近代進化論批評	George Christopher Williams／著 辻和希／訳	共立出版	2022年4月
進化と人間行動	長谷川寿一, 長谷川真理子, 大槻久／著	東京大学出版会	2022年4月
日本の生命科学はなぜ周回遅れとなったのか 国際的筋肉学者の回想と遺言	杉晴夫／著	光文社	2022年4月
遺伝子とは何か？ 現代生命科学の新たな謎	中屋敷均／著	講談社	2022年4月
植物医科学	難波成任／監修・執筆	養賢堂	2022年3月
プロPPER細胞生物学 細胞の基本原理を学ぶ	George Plopper, Diana Bebek Ivankovic／著 中山和久／監訳	化学同人	2022年3月
食と栄養を学ぶための生物学	堀田久子, 池晶子, 塚元葉子／著	化学同人	2022年3月
チョウの行動生態学	井出純哉／編集	北隆館	2022年3月
魚毒植物	盛口満／著	南方新社	2022年3月
くめなんの蝶 蝶遊撮影記	岸清巳／著	吉備人出版	2022年3月
老いを愛づる 生命誌からのメッセージ	中村桂子／著	中央公論新社	2022年3月
休み時間の細胞生物学	坪井貴司／著	講談社	2022年2月